

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 367 事業名 生活衛生安全推進事業(遊泳用プール等)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		環境衛生費	
	大事業		環境衛生事業	
事項		生活衛生安全推進事業		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長(Tel)	生活保健課	辻 晃至 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	遊泳用プールの衛生基準等に基づき、利用者が快適、安全かつ衛生的に利用できることを目的とする。	全ての遊泳用プールに対し、衛生基準等に基づき、利用者が快適、安全かつ衛生的に利用できるように立入調査を行い、口頭及び書類による指導を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	監視対象施設数	23件	23件	22件		
	監視件数	13件	22件	20件		
	監視率	56.5%	95.7%	90.9%		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	749	713	831	403	380	351	353			353	
	伸び率 (%)	-	-	10.9%		-54.3%		-7.1%			0.0%	
	人件費	常勤職員	750	1,751	1,751	3,079	3,079	2,940	3,079			3,079
		非常勤職員	428	0	0	0	0	0	0			0
		小計	1,178	1,751	1,751	3,079	3,079	2,940	3,079			3,079
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
一般財源(税等)	749	713	831	403	380	351	353			353		
所要人数	常勤職員	0.1	0.28	0.28	0.41	0.41	0.39	0.41			0.41	
	非常勤職員	0.1	0	0	0	0	0	0			0	

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	監視数	年度目標値			23	23	22	22	22
		実績値			13	22	20		
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	56.5%	95.7%	90.9%	
	届出数	年度目標値							
		実績値			0	0	0		
単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	監視率 (監視数/全体数)				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	年度目標値			100	100	100	100	100	
	実績値			56.5	95.7	90.9			
	単位	%	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	56.5%	95.7%	90.9%	
	年度目標値								
	実績値								
単位		全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	常に遊泳用プールの安全衛生を保持させるため、引き続き、施設に対する監視・指導を行う。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	